

# 研究協力をお願い

昭和大学および下記研究協力施設では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学及び関連施設における脳底動脈窓形成部動脈瘤治療成績の検討

## 1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学及び下記研究協力施設において脳底動脈窓形成部動脈瘤に対して脳血管内治療をうけた患者さん

1997年1月から2025年1月まで

## 2. 研究目的・方法

脳底動脈窓形成部動脈瘤は稀な疾患です。近年脳動脈瘤に対する脳血管内治療が発展し、脳動脈瘤の治療は開頭手術から血管内治療へ移行しつつあります。当院及び協力施設において脳底動脈窓形成部動脈瘤に対する脳血管内治療の有効性、安全性を検討し、今後の診療の発展を目指すのが研究目的です。症例の収集・解析は昭和大学脳神経外科学講座が担当します。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2030年1月1日までです。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

1997年1月から2025年1月までに脳底動脈窓形成部動脈瘤に対して脳血管内治療をされた患者診療録の中から、脳血管撮影画像、頭部MRI・CT、患者背景（年齢、性別、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態）を調査対象とします。

## 4. 外部への試料・情報の提供

個人情報保護のため、取得した診療情報は個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化し、対応表を作成します。得られた診療情報、対応表および解析結果は各施設内の外部から切り離されたコンピューター内に保存されます。

また、個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報を削除し符号化した情報は、各関連施設（昭和大学、和歌山労災病院、日高総合病院、長久病院、石岡循環器科脳神経外科病院、函館脳神経外科病院）から医学部脳神経外科学講座へ送付されます。

**5. 研究組織**

昭和大学、和歌山労災病院、日高総合病院、長久病院、石岡循環器科脳神経外科病院、函館脳神経外科病院

**6. お問い合わせ先**

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院脳神経外科

氏名：三鬼侑真

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台1丁目5-8

電話番号：03-3784-8000

研究代表者・研究責任者：三鬼侑真